
共通した哀しい気持ち

yuris

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

共通した哀しい気持ち

【Nコード】

N5496S

【作者名】

y u r i s

【あらすじ】

せつかく貴方と共通できたものが、こんなにも哀しく私を苦しめる。

私は今日も貴方に問う。

「ねえねえ奏兄、私のこと好き？」

「勿論好きだよ」

貴方はそう言つて私に優しい笑顔を向けてくれるね。

ねえ奏兄、私は今年私立の中学校に入りました。中高一貫の学校だからまた会えるよ。

私は、私は貴方を追いかけてこの学校に入りました。

頭の良い奏兄と並ぶために、小学校では100点を取り続けたよ。

発表もし続けた。おかげで通知表はオールAになったの。恋という原動力は凄いね。

それでね、貴方のいるサッカー部のマネージャーにもなったよ。

先輩も優しくて、奏兄もいて、とても楽しかった。幸せだった。

それでもね、見ちゃったんだよ。奏兄の凄く楽しそうな顔。

奏兄は私の家の隣だから勿論スクールバスは同じ。帰りだって同じバスだ。

たまたま奏兄は部活の片付けが遅くなって、座る席がなくなっちゃった時。サッカー部で私に優しく指導してくれた先輩マネージャーさんの隣に座ってたよね。

真っ赤に染まった顔で。

私の隣だつて空いていたのに、わざわざ先輩の隣に座つたのは何故？私が奏兄をそういう想いで見ているのと同じように、奏兄も先輩をそういう想いで見ていたんだつてことが痛いほど分かってしまつて。だって私は奏兄をずっと見ていて、今の奏兄と同じ想いを抱えていて。

奏兄のことを誰よりも知っていたから、そのことに気づいてしまったんだ。

引き裂きたくてしょうがなくて、奏兄に私を見て欲しくて。それで

も奏兄の悲しそうな顔を見たくはなくて、幸せになって欲しくて。矛盾して、交錯して、ぐちゃぐちゃにされる私の心。全部貴方のせいだよ。

それでもまだ奏兄が好きな私は、おかしいのだろうか。

それから何度仲睦まじい2人を見て胸を痛めたか知れない。

それでももうちょっと、あと2年、奏兄が卒業してこの学校からいなくなるまで。

それまで奏兄のこと、好きでいていいですか。

（俯いて）（貴方すら見えなくなってしまった）（未来の私の汚れた道には）

（一体何が残っているのだろう）

（後書き）

なんだか久々に悲恋書いた気がします。実際はあまり経っていないと思いますが。

これはほんの少しだけ私の実体験が混ざっています。

私の通っている中学校も中高一貫なのですが、一緒のスクールバスでいつも眠りこけておられる憧れのカッコイイ先輩に彼女がいたという衝撃事実…。

まあ、それ以外は全て創作なのですが。

こんな駄作ですが、感想を頂けると嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5496s/>

共通した哀しい気持ち

2011年10月8日20時52分発行